

芯

校長室通信 No.3 2024/05/31

文責：柿沼 透

「芯」・・・トウシグサの随の部分。(三省堂『新明解国語辞典』より抄)

トウシグサは和ろうそくの原料です。学校目標「しんの強い子ども」。花火のように華美ではないけれど、子どもたちの心の奥にある本気のともしび。その芯に火を灯す教育をみんなで進めていきましょう。

活動あって学びあり!

学習指導要領(国語)では、各学年とも、語句の量を増やすことが目標の一つとなっています。第1学年では特に、身近なことを表す語句の量を増やしていくことが重要とされています。では、どのように…。その答えが、1の1石川先生の示範授業です。

授業の導入。見通しを持たせ、
めあてを共有して…



ここからが、子どもを引きつける教師の技。
動作化を取り入れ、
促音(小さい「っ」)を、
身体表現と共に理解させていました。



ここで、学習形態を「コの字型」に。
集団解決を一層促すため、全員の顔が見える形態にさせました。
子どもたちの集中力も高められ、競い合うように促音の付く言葉を発表。
個人、班別、集団。それぞれの学習形態には、それぞれに目的があるということですね。



大変意欲的な挙手。表現したい気持ちが全開!!
活動あって、学びあり。
言葉探しに夢中になるうちに、
いつの間にか学習も深まっていく、すばらしい授業でした。

こんなに多くの意見が、
子どもたちから出ました。